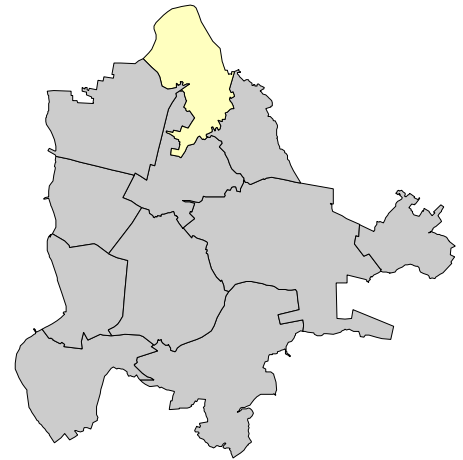


## (6) 小金地域

### 1) 概況、特性

本地域は、比較的起伏に富んだ台地部と、地域の東西の端を流れる坂川、富士川周辺の低地部で構成されます。坂川や富士川沿いの市街化調整区域には農地が広がっています。

また、戦国時代の豪族高城氏の居城跡である小金城址や、領主高城氏の保護を受けて栄えた本土寺・東漸寺、高城氏代々の墓のある廣徳寺などの多くの歴史遺産を有する地域です。



分類	景観要素
自然（水と緑）	幸田湧水、坂川、富士川、水田地帯など
歴史・文化	幸田貝塚、殿平賀遺跡、東平賀遺跡、大谷口歴史公園（小金城址）、廣徳寺、東漸寺、本土寺、一月寺、大勝院、慶林寺、旅籠：玉屋・小金宿本陣跡、本土寺参道、蘇羽鷹神社など
まちなか・営み	北小金駅前など
まち並み・眺望	旧小金宿のまち並みなど

### 2) 課題

地域北部の坂川・富士川・上富士川周辺では、水田を主体とする水辺空間を活かした、地域南部の市街地は、歴史遺産を大切に、小金城址、本土寺、東漸寺などの建造物とみどり、静けさとにぎわいが調和した景観づくりが望まれます。

### 3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 屋敷林や庭木などの道路から見える緑を景観づくりに活かします。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 斜面林や社寺の緑を大切にします。	1)-④心のよりどころとなる緑を継承しよう
● 地域北部の坂川、富士川、上富士川周辺は、水辺空間を活かした景観づくりを目指します。	1)-⑦緑と水のつながりを創っていこう
● 本土寺や東漸寺など歴史的建造物の界隈は雰囲気を活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 落ち着いた佇まいと緑を大切にします。	4)-⑤規制を話し合っ景観を保全しよう
● もてなしの心と癒しの空間のある景観づくりを目指します。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

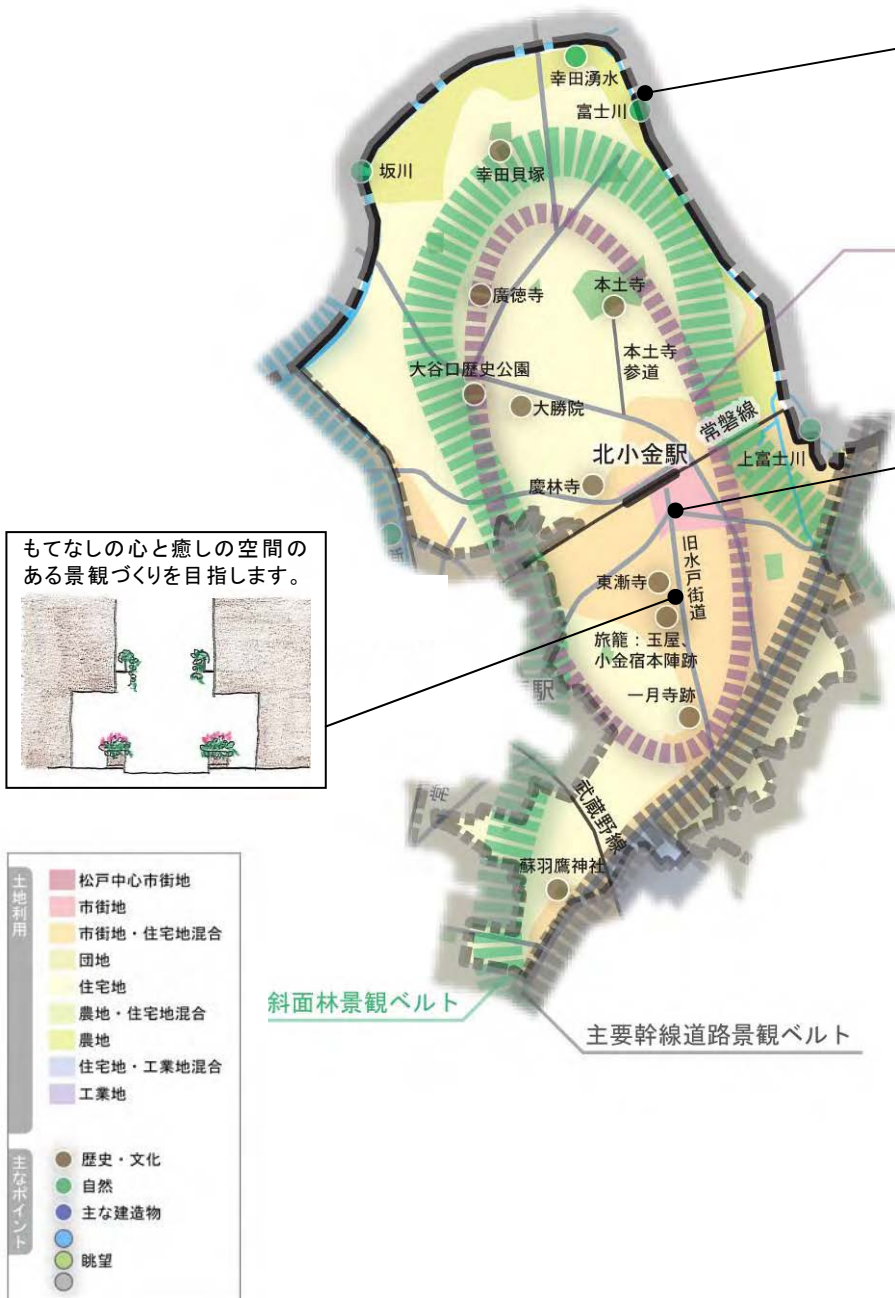
- ・敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。
- ・観光客に小金の歴史や文化、良いところを伝えます。

【事業者】

- ・事業内容が斜面林に与える影響を考えます。
- ・事業内容が歴史的な景観に与える影響を考えます。
- ・屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

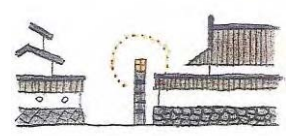
- ・歴史的建造物を大切にします。
- ・本土寺・東漸寺などの社寺林を保全します。
- ・景観づくりのルールを検討します。
- ・市民の景観づくりに関する活動を支援します。



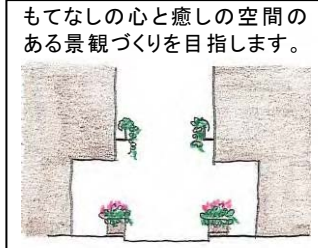
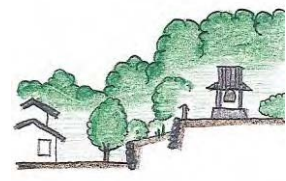
水辺空間を活かした景観づくりを目指します。

歴史的景観拠点

本土寺や東漸寺など歴史的建造物の界隈は雰囲気を活かした景観づくりを目指します。



斜面林や社寺の緑を大切にします。



もてなしの心と癒しの空間のある景観づくりを目指します。

土地利用	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#f08080;"></span> 松戸中心市街地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#f0c0c0;"></span> 市街地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#fff2cc;"></span> 市街地・住宅地混合
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#fff2cc;"></span> 団地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#fff2cc;"></span> 住宅地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#fff2cc;"></span> 農地・住宅地混合
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#fff2cc;"></span> 農地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#fff2cc;"></span> 住宅地・工業地混合
主なポイント	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#800000;"></span> 歴史・文化
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#008000;"></span> 自然
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#000080;"></span> 眺望

斜面林景観ベルト

主要幹線道路景観ベルト

■景観拠点 [歴史的景観拠点—旧小金宿周辺]

小金地域には、江戸初期に関東十八檀林の1つとされた名刹「東漸寺」や、あじさい寺として市民に親しまれている「本土寺」などがあります。これら寺の巨木・古木、四季折々の花木や周辺の斜面林は、心のよりどころとなる貴重な緑であり、その境界は、独特な風情を醸し出していることから、「社寺」の風情は重要な景観要素の一つになっています。

特に、小金の旧水戸街道沿いは、旅籠「玉屋」や、間口が狭くて奥行きのある町屋、昔のままの地割もかつての面影をわずかに留めています。そして、仕立てられた松や檜、生垣などの昔ながらのまち並みをみることができ、当時の様子を忍ばせてくれます。

今後、歴史的建築物境界のまち並みを継承していくためには、日々のメンテナンスに配慮し、まち並みを伝えていくことが大切です。加えて、これらの景観要素のPRを進め、歴史と文化の薫る豊かな景観の形成を図ります。



本土寺の菖蒲



旧水戸街道の旅籠「玉屋」

景観づくり方針

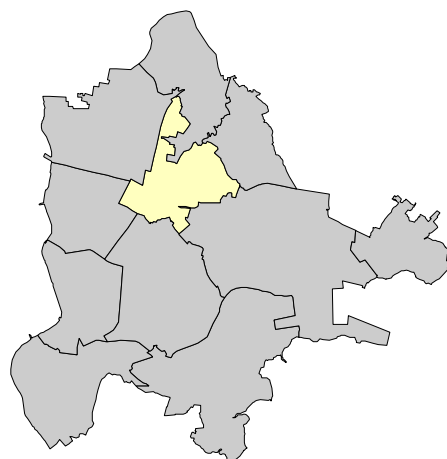
●歴史や文化の蓄積が醸すまち並み・境界を活かした景観づくり

考え方	行動方針
● 旧水戸街道沿いの軒先・店先は、緑や花を配置するなど、街のうるおいの創出に努めます。	1)-⑧緑の多い街並みにしよう
● 旧小金宿の歴史的街並みを活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 祭事やイベントを通して人と人の結びつきを大切に、新たな街の文化を創造します。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 通りの清掃や植栽管理、建物の修繕などに配慮し、まち並みを大切に育みます。	4)-⑥日々のメンテナンスを大切に、良好な景観の維持に努めよう
● 旧小金宿の歴史的な建物意匠を大切に、周囲と調和のとれた建築物のルールを検討します。	4)-⑩色彩や素材に配慮した建物をつくろう
● 街を歩く人が憩えるポケットパークのなどの設置に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう
● バリアフリーを推進して、安全で快適な歩行者空間の創出を図ります。	5)-②ユニバーサルデザインを進めよう

## (7) 馬橋地域

### 1) 概況、特性

本地域の地形は、西側の低地部と東側の台地部に大きく分かれ、比較的起伏に富んだ地形となっています。低地と台地の境には斜面林や湧水池が残り、一部の緑は保全樹林地区に指定されています。旧水戸街道沿いには「万満寺」があり、重要な景観要素の一つになっています。



分類	景観要素
自然（水と緑）	斜面林など
歴史・文化	万満寺、王子神社、妙見神社、熊野神社、安房須神社など
まちなか・営み	旧水戸街道など
まち並み・眺望	さくら通り（八ヶ崎）など

### 2) 課題

本地域は斜面林、湧水池などの自然資源や、万満寺をはじめとする旧水戸街道沿いの歴史遺産の活用を基本とし、民有地内の緑化と共に緑豊かな住宅地景観を形成することが望まれます。

### 3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 湧水や斜面林などの自然資源や地形を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 歴史的建築物の風情を活かした景観づくりを目指します。	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう

#### ●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

##### [市民]

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。
- ・ 観光客に松戸の歴史や文化、良いところを伝えます。

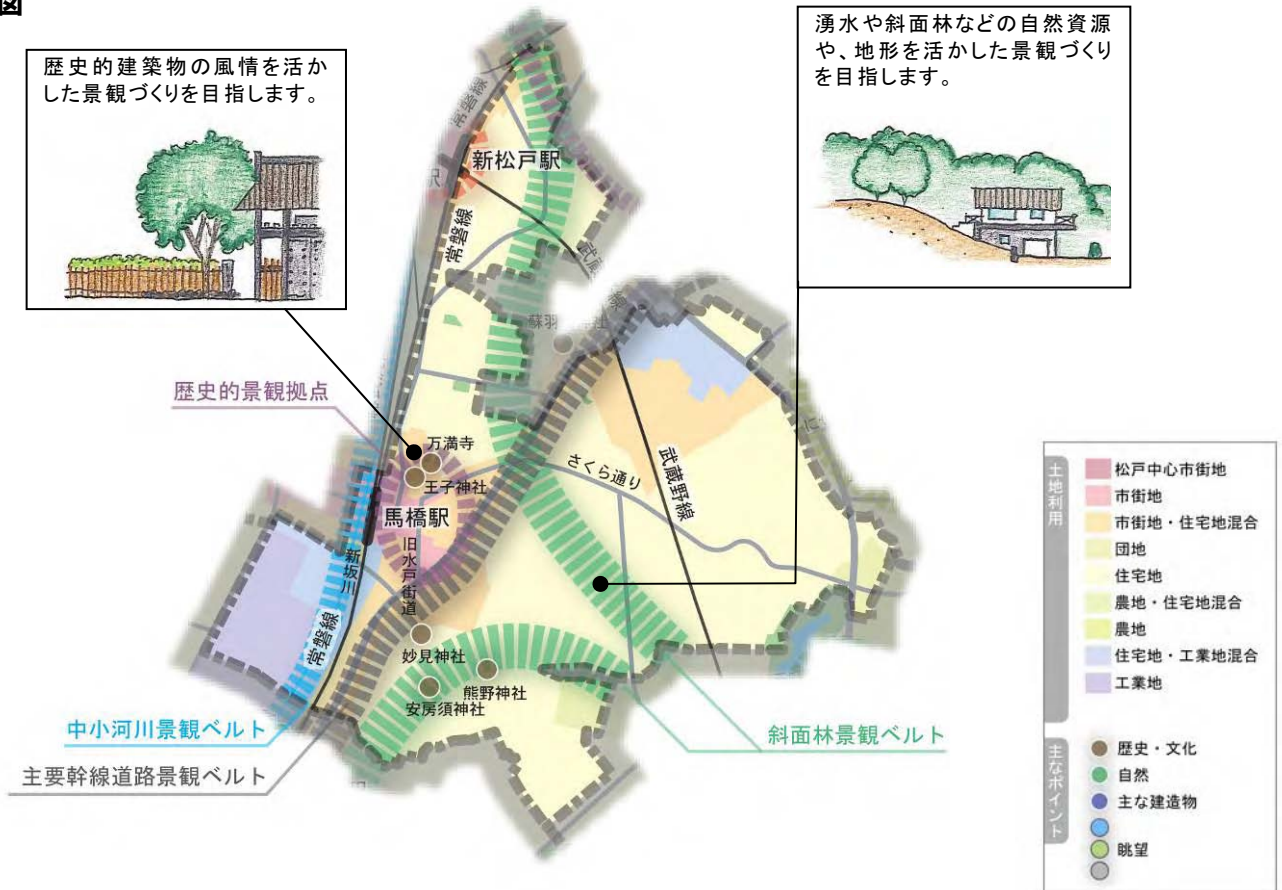
##### [事業者]

- ・ 事業内容が斜面林に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 事業内容が歴史的な景観に与える影響を考えます。

【行政】

- ・ 歴史的建造物を大切にします。
- ・ 景観づくりのルールを検討します。
- ・ 市民の景観づくりに関する活動を支援します。

図



■景観拠点 [歴史的景観拠点－馬橋駅周辺]

馬橋地域には「万満寺」があり、伝承によれば鎌倉時代仏師運慶の作といわれる「金剛力士像」は、国の重要文化財に指定されています。

斜面林や、社寺の巨木・古木は、心のよりどころとなる貴重な緑であり、その境界は、独特な風情を醸し出していることから、重要な景観要素の一つになっています。

今後も、歴史的建築物境界のまち並みを継承していくために、こうした景観要素のPRを進め、歴史と文化の薫る豊かな景観の形成を図ります。

景観づくり方針

●歴史や文化の蓄積が醸すまち並み・境界を活かした景観づくり

考え方	行動方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧水戸街道沿いの歴史的な景観要素を活かしたまち並みを目指します。</li> </ul>	2)-①歴史的な景観に新たな価値を見出し再生しよう
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールづくりが必要です。</li> </ul>	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう



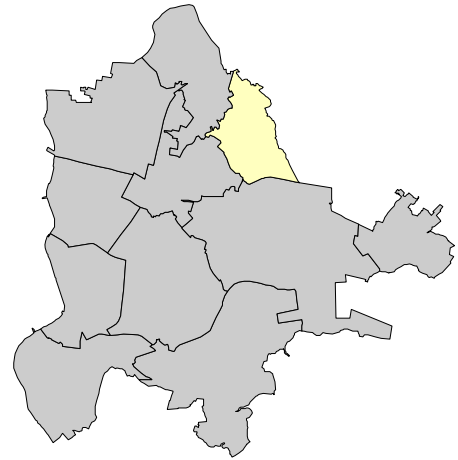
万満寺

## (8) 小金原地域

### 1) 概況、特性

本地域の北部の市街化調整区域には上富士川や、農地が広がっています。また、貝ノ花などの遺跡や、縄文時代後期の貝塚が発見されており、そのほか根木内城址などの歴史遺産が残され「根木内歴史公園」として整備されています。

昭和40年代以降土地区画整理事業により大規模な造成が行われた小金原団地は、アメリカフウ・ニセアカシア・ソメイヨシノ・イチョウなどの多種の街路樹や、小金原公園などの豊富な緑が全体として落ち着いた住宅地景観を形成しています。



分類	景観要素
自然（水と緑）	上富士川、根木内歴史公園、小金原公園、大清水湧水など
歴史・文化	貝の花貝塚、茂侶神社など
まちなか・営み	夏祭りなど
まち並み・眺望	小金原団地、いちょう通り、さくら通り、あめりかふう通りなど

### 2) 課題

北東部では、根木内歴史公園周辺の樹林や湿地などを保全するとともに積極的に活かした景観づくりが望まれます。

また、団地内の植栽や街路樹、小金原公園などの緑、貝塚などの自然資源を活かした景観づくりが望まれます。

### 3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 地形の起伏を活かした景観づくりを目指します。	1)-①地形を活かした景観づくりをしよう
● 成熟した美しい街路樹を活かした景観づくりを目指します。	2)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

#### 【市民】

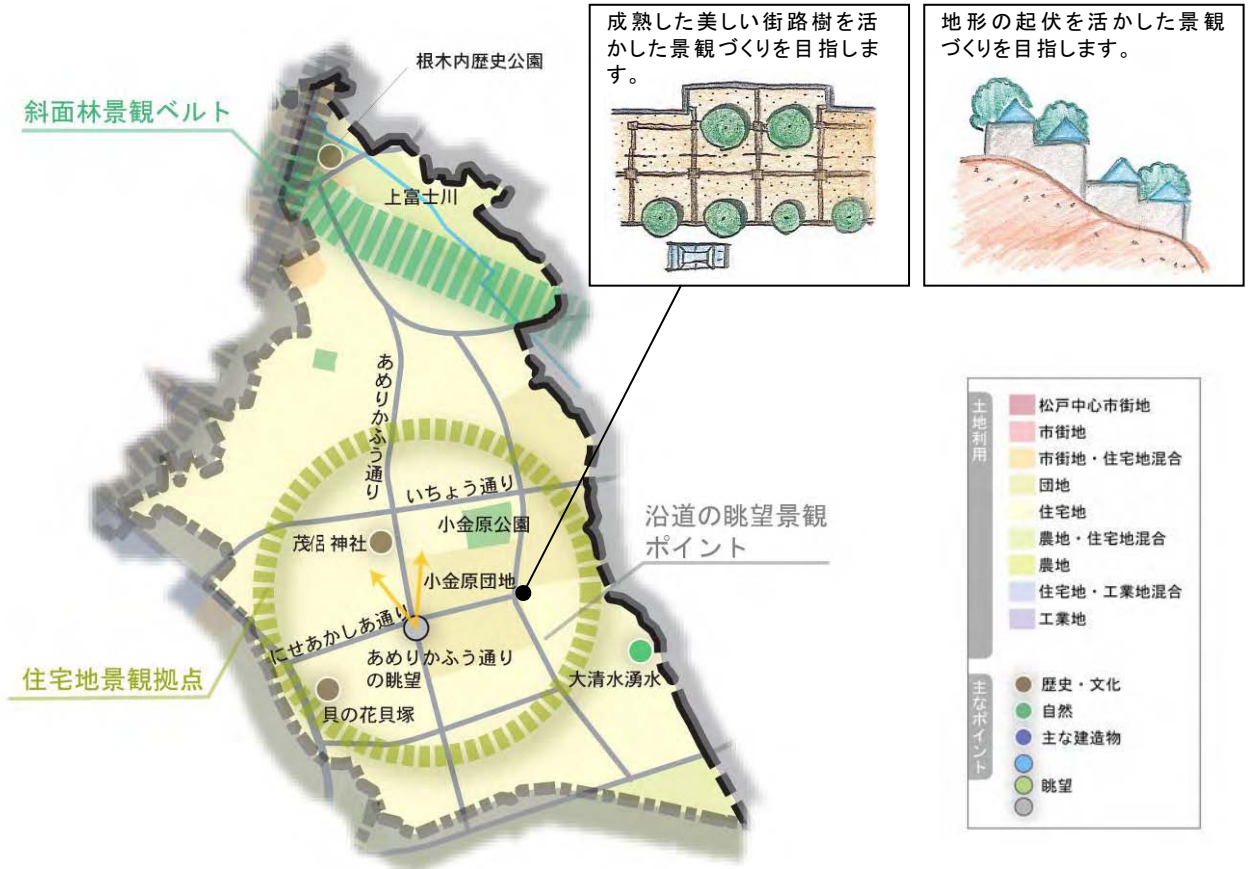
- ・敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。

#### 【事業者】

- ・事業内容が沿道景観に与える影響を考えます。
- ・屋外広告物の掲出ルールを守ります。

#### 【行政】

- ・根木内歴史公園は、歴史を学び自然とふれあえる公園にします。
- ・成熟した街路樹を美しく維持しより良いものにします。
- ・景観づくりのルールを検討します。
- ・市民の景観づくりに関する活動を支援します。



■景観拠点 [住宅地景観拠点－小金原団地一帯]

5層程度の中層住宅が連続する小金原団地は、サクラ・ケヤキ・アメリカフウ・ニセアカシアなどの多種の街路樹や、小金原公園などの緑が豊富で全体として落ち着いた住宅地景観を形成しています。こうしたことから、緑の資源を保全するとともにそれらの資源を活かした景観づくりに努めます。

一方、高低差のある地域のため、高齢化の進展に伴うバリアフリー対応など新しい課題を抱えている地域でもあります。



景観づくり方針

●地形を活かした住宅地や商業地、沿道などが調和する豊かな景観づくり

考え方	行動方針
● 成熟した地域のみどりを育む担い手の輪をつなげます。	1)-①みどりの景観づくりのための担い手の輪をつなげよう
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 環境保全やまちづくりなど景観に関わる多様な市民活動を支援します。	5)-③景観づくりに取組む市民活動を支援しよう

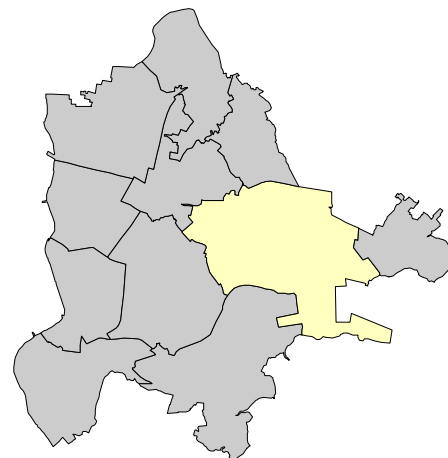
## (9) 常盤平地域

### 1) 概況、特性

本地域の中央部には、5層程度の中層住宅が連続する常盤平団地があり、けやき通り・さくら通り・金ヶ作公園の緑と団地内の樹木が立派に成長し、春にはさくら祭りが開催され、市民の憩いの空間となっています。街路樹の大きく育った道路が多いことから、車窓から眺める景観が地域の景観を印象づけているといえます。幹線道路は見通しが良く、移動しながら豊かな眺望景観を楽しめます。

北西部には、斜面林、谷津、湿地などの自然資源が残された「21世紀の森と広場」があり市民の憩いの場として親しまれています。

また、本市の中央部にある八柱駅、新八柱駅は鉄道駅の結節点であることから、それにふさわしい賑わいがあります。常盤平駅周辺は日用品をそろえた個人店やスーパーなどが住宅地と連続したまち並みを形成しており、親しみのある駅前の商業核を形成しています。南東部には松飛台工業団地があり、敷地内の緑化により地域にうるおいを供している例があります。



分類	景観要素
自然（水と緑）	21世紀の森と広場、子和清水、金ヶ作公園など
歴史・文化	徳蔵院など
まちなか・営み	森のホール 21・博物館、さくらまつりなど
まち並み・眺望	常盤平団地の星型住宅、けやき通り、さくら通り、広場の橋から見る眺望、松飛台工業団地など

### 2) 課題

常盤平団地では、閑静な住宅地にふさわしい節度ある賑わいの景観を創出することにより、地域住民の暮らしやすさの満足度を高めていくことが求められます。緑の資源を保全するとともにそれらの資源を活かした景観づくりが望まれます。

また、「21世紀の森と広場」周辺は、松戸市総合計画で「文化交流拠点」に位置づけられています。こうしたことから、それを核とし、文化や芸術の香り高い周辺地域の景観づくりが望まれます。

そして、八柱駅、新八柱駅は景観資源への玄関口であることから、駅と景観資源を結ぶ緑のネットワーク化により連続的な景観づくりが望まれます。今後は沿道の商業施設等が掲出する屋外広告物やマンションなどの大規模建築物に対するルールづくりを進めて規制誘導を図るなど、緑と調和した豊かな沿道景観づくりが望まれます。



### 3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 豊かなみどりを活かした景観づくりを目指します。	1)-②みどりはたらしきを活かす景観づくりをしよう
● さくら通りやけやき通りなどの成熟した街路樹は地域のシンボルとして守り育てます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 松飛台工業団地は、敷地にみどりを増やしたり、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。	1)-⑧緑の多い街並みにしよう
● 21世紀の森と広場や博物館、森のホール21等の入り口周辺は、魅力ある景観づくりを行います。	2)-②景観に芸術という空間構成を取り入れよう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 芸術・文化の中心となる景観づくりに努めます。	2)-⑦芸術を感じ景観に取り入れよう
● うるおいと賑わいが連続する景観づくりをします。	3)-①パブリックな空間を活かし賑わいが連続する景観づくりをしよう
● 森の橋、広場の橋からの緑のスカイラインを眺望景観として保全します。	4)-②優れた眺望景観を確保しよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

- ・ 敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・ 玄関前やバルコニーに植栽を施し、街にうるおいを与えます。
- ・ 祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

【事業者】

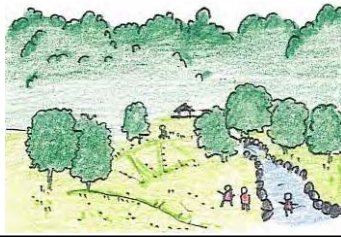
- ・ 事業内容が沿道景観に与える影響を考えます。
- ・ 屋外広告物の掲出ルールを守ります。
- ・ 街に憩いと安らぎを与えるベンチやテーブル、植栽などを提供するスペースを設けます。

【行政】

- ・ 21世紀の森と広場のみどりや生き物の生育環境を保全育成し後世に残します。
- ・ 成熟した街路樹を美しく維持しより良いものにします。
- ・ 景観重要公共施設の指定を検討します。
- ・ 芸術・文化の交流拠点づくりに取り組みます。

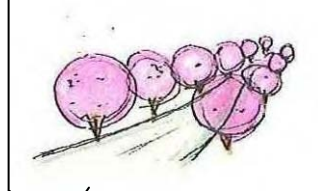


森の橋、広場の橋からの緑のスカイラインを眺望景観として保全します。

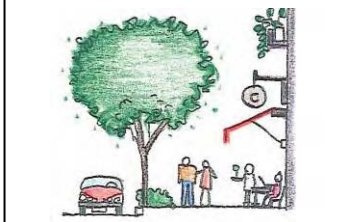


芸術・文化の中心となる景観づくりに努めます。

さくら通りやけやき通りなどの成熟した街路樹は地域のシンボルとして守り育てます。



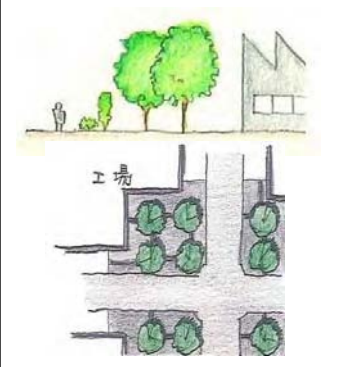
うるおいと賑わいが連続する景観づくりをします。



地域の歴史や文化を学び、伝えます。



松飛台工業団地は、敷地にみどりを増やし、看板等の工夫など、事業者と協働により工業地景観の向上を図ります。



土地利用	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#f08080;"></span> 松戸中心市街地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#f0c0c0;"></span> 市街地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#f0e080;"></span> 市街地・住宅地混合
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#f0f080;"></span> 団地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#e0f080;"></span> 住宅地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#c0f080;"></span> 農地・住宅地混合
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#a0f080;"></span> 農地
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#80c0f0;"></span> 住宅地・工業地混合
	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#60a0f0;"></span> 工業地
	主なポイント
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#408040; border-radius:50%;"></span> 自然	
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#404080; border-radius:50%;"></span> 主な建造物	
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:#408080; border-radius:50%;"></span> 眺望	
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; border:1px solid gray; border-radius:50%;"></span>	

■景観拠点 [みどりの交流景観拠点－21世紀の森と広場]

市のほぼ中央部に位置する21世紀の森と広場の計画コンセプトは「千駄堀の自然を守り育てる」であり、公園は斜面林、谷津、湿地などの自然資源が残された千駄堀地区にあります。特に湧水を活用した千駄堀池は3つの湧水の流れが合流する場所にあり、公園周辺には大きな農家も建ち並び里山の景観も見ることができ、緑に満ち溢れた自然の宝庫となっています。

公園を貫く道路（橋）からは雄大な夕焼け等を見ることができます。空を遮るような建物もなく自然とふれあい楽しむことができる場所として、散策や健康づくりに利用する市民の方も多く、親しまれている公園です。また、園内にあるパークセンターは、公園情報の発信・自然学習・緑の相談所として機能している施設です。その他、森のホール21や博物館などの公共施設と合わせて、多様な「自然」、「レクリエーション」、「文化」活動に利用され市内外から多くの人々が訪れています。

今後自然の中で学び、遊べるみどりの交流景観拠点として、景観づくりの普及啓発を進め育むとともに、貴重な緑や水辺、鳥類など多くの生き物の生育環境を保全育成し、緑のスカイラインを維持するなど、緑の保全を基本とした景観の形成を図ります。



広場の橋から望む21世紀の森と広場



博物館

景観づくり方針

●自然を尊重したみどり、文化の景観づくり拠点の創出

考え方	行動方針
● 自然の中で学び、遊べる環境づくりを行います。	1)-⑩自然のなかで学び、遊べる環境を創ろう
● 森の橋、広場の橋からの眺望景観を保全します。	4)-⑧視点場からの眺めに配慮した建物の高さや外観のあり方を考えよう
● 21世紀の森と広場のパークセンターは、みどりの情報発信基地として啓発活動を行います。	4)-⑪景観性の高い施設を活かし人の交流をつくらう

■景観拠点〔商業地景観拠点－八柱駅周辺〕

本市の中央部にある八柱駅、新八柱駅は鉄道駅の結節点であることから、それにふさわしい賑わいがあります。

また、「21世紀の森と広場」や「八柱霊園」、日本の道100選に選ばれた「さくら通り」などの景観資源への玄関口でもあることから、オープンスペースを活用したポケットパークやオープンガーデン、市民の庭づくりなどにより、駅と景観資源を緑で結ぶ連続的な景観づくりを図ります。



八柱駅前

景観づくり方針

●景観阻害要因の改善による、安全で安心して過ごせる秩序あるまちなかの景観づくり

考え方	行動方針
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 文化施設へのアプローチにおいては、景観を阻害する建造物に対する指導を行います。	4)-⑦景観を阻害する建造物を改善しよう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいと賑わいの創出に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう

■景観拠点[住宅地景観拠点－常盤平団地一帯]

5 層程度の中層住宅が連続する常盤平団地は、けやき通り（新・日本街路樹百景）・さくら通り（日本の道 100 選）・金ヶ作公園の緑と団地内に大きく成長した樹木とのバランスも取れ、豊富な緑の資源が全体として落ち着いた住宅地景観を形成しています。また、住棟の間の芝生や植栽は適度に管理され、園芸に興味のある住民による植栽も地域にうるおいを与えています。こうしたことから、緑の資源を保全するとともにそれらの資源を活かした景観づくりに努めます。



常盤平のけやき通り

常盤平団地には、日当たりとプライバシーの確保を主な目的に Y 字型に 3 戸を配し交差する中央部分に階段室を設けた星型住宅と呼ばれる建物があり、ともすると単調な景観になりがちな団地景観にアクセントを与えています。



常盤平のさくら通り

団地内には施設の老朽化という課題はあるものの日常品を扱う商店街や比較的規模の大きい都市公園が整備されています。

一方、駐車場不足による路上駐車や建物の老朽化、バリアフリー対応など高齢化の進展とともに、さくら通りのソメイヨシノは寿命が近づきつつあり 若木への更新を含めた保全策を必要とするなどの課題を抱えている地域でもあります。

なお、松戸市立博物館には、昭和 30 年代にタイムスリップさせた状態で復元した「都市へのあゆみ」というコーナーがあり、当時の団地生活を再現しています。

景観づくり方針

●地形とみどりを活かした住宅地や商業地、沿道などが調和する豊かな景観づくり

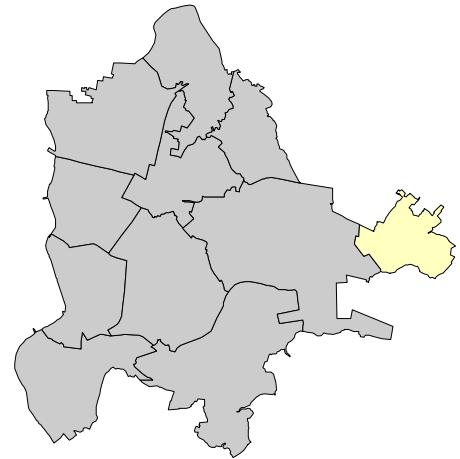
考え方	行動方針
● 成熟した地域のみどりを育む担い手の輪をつなげます。	1)-⑨みどりの景観づくりのための担い手の輪をつなげよう
● 環境保全やまちづくりなど景観に関わる多様な市民活動を支援します。	5)-③景観づくりに取り組む市民活動を支援しよう

## (10) 六実地域

### 1) 概況、特性

本地域のほぼ全域が平坦な地形となっています。観光梨園を中心とした農地が多く、収穫の季節になると観光客が訪れます。地域内には農地が残されていますが、都市化の進展に伴い農地や樹林地などの自然は少なくなっています。

また、本地域の県道を挟んだ北側は、昭和40年代の区画整理事業により生まれた成熟した住宅地であり、庭の木々も成長し、六高台のさくら通りでは桜まつりも行われ、きれいな景観を生んでいる地域です。大きな屋敷と屋敷林が残っている場所もあります。



分類	景観要素
自然（水と緑）	六実中央公園など
歴史・文化	野馬除土手、たかお神社など
まちなか・営み	六実駅周辺、桜まつり、観光梨園など
まち並み・眺望	さくら通りなど



六実駅



さくら通り

### 2) 課題

六実地区は、観光梨園や街路樹などの貴重な緑を保全し、地域の特徴として景観づくりに活かしていくことが望まれます。

また、民有地の生垣などの緑や屋敷林は、まちなかに貴重な緑の景観を提供しており、所有者の意向を汲みながら保全していくことが求められます。

### 3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 屋敷林などの貴重な緑を保全し、地域の大切な景観として活かします。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● さくら通りの成熟した街路樹は、地域のシンボルとして守り育てます。	1)-③骨格となるみどりの景観を守ろう
● 地域の歴史や文化を学び伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 観光梨園等は、サインなどの掲出物に景観的な配慮が望まれます。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

- ・敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。
- ・祭事などに参加して、地域の歴史や文化を後世に伝えます。

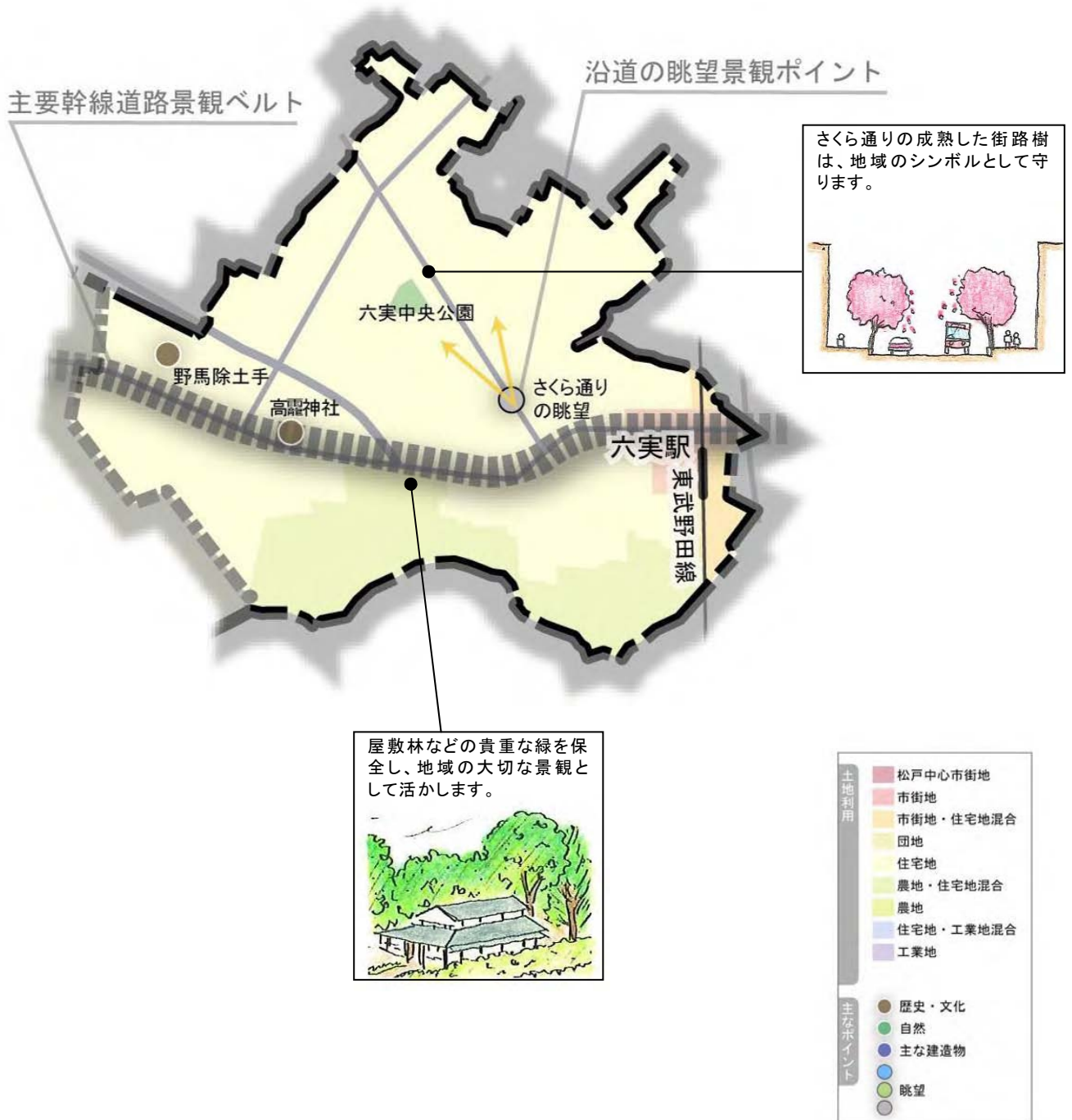
【事業者】

- ・事業内容が沿道景観に与える影響を考えます。
- ・屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

- ・成熟した街路樹を大切にします。
- ・市民の景観づくりに関する活動を支援します。

図



## (11) 東部地域

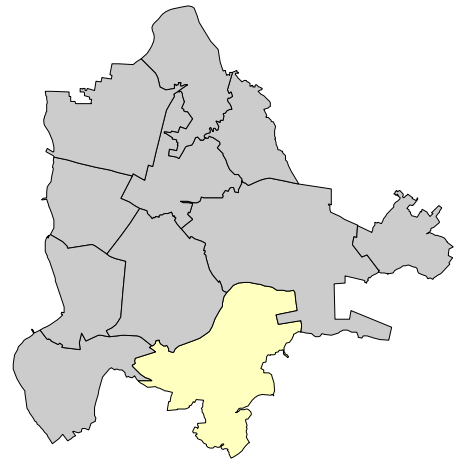
### 1) 概況、特性

本地域の台地部では、自然的な土地利用や観光梨園などの農地が多くを面積を占めています。地域の南部に位置する農地の多くは生産緑地地区に指定され、多くの観光梨園が集まっています。

また、周辺に広がる市街化調整区域では、大根やねぎなどが盛んに生産されています。

北側の低地部には国分川、春木川、紙敷川が流れ、田園や自然環境が残る地域です。なかでも国分川では、浸水被害の解消とうるおいのある水辺空間づくりのため多自然型の河川改修が進められています。八柱霊園は、園内に大規模な樹林や公園的空間を有しており、北側の参道沿いには、石材店などが建ち並び、特徴ある景観を形成しています。

北総線の東松戸駅、秋山駅、松飛台駅周辺では、地区計画を導入した新たな市街地整備が行われています。また、「花」を通して市民一人ひとりが「結ばれる」といった思いを込めた「東松戸ゆいの花公園」では、花を育てるボランティアの皆さんがまちづくりに貢献しています。



東松戸ゆいの花公園

分類	景観要素
自然（水と緑）	八柱霊園、国分川、春木川、紙敷川、ゆいの花公園など
歴史・文化	河原塚古墳、廣龍寺、本源寺など
まちなか・営み	東松戸駅、秋山駅、松飛台駅周辺、八柱霊園の石材店、観光梨園など
まち並み・眺望	八柱霊園のけやき並木と石材店など

### 2) 課題

国分川流域では、生物の良好な生息環境や親水性に配慮するため多自然型護岸による河川改修を進め、周辺農地、斜面林の保全を図るとともに緑豊かな景観づくりが求められます。一部の遊休地では、資材置き場に変更するなど景観阻害要因となっている例が見られることから、空間を閉鎖する塀やフェンスは避け、緑化などの景観的な工夫が求められます。また、八柱霊園内の樹林や公園的空間を有効に活用し歩道の整備や緑化が望まれます。



3) 景観づくり方針

考え方	行動方針
● 農地と住宅地が調和する景観づくりを目指します。	1)-②みどりのはたらきを活かす景観づくりをしよう
● 生物の良好な生息環境や親水性に配慮した、みどり豊かな景観づくりを目指します。	1)-⑦緑と水のつながりを創っていこう
● 地域の歴史や文化を学び、伝えます。	2)-⑥松戸の歴史や文化に触れられる社会を増やそう
● 八柱霊園の参道は、特徴ある街並み景観を大切にします。	3)-②生活感あふれる空間を活かした景観づくりをしよう
● 観光梨園等は、サインなどの掲出物に景観的な配慮が望めます。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくらう

●景観づくりに参加しましょう（下記は一例。進め方はP90～P94を参照）

【市民】

- ・敷地境界には生垣を配植するなど、街にうるおいを与えます。

【事業者】

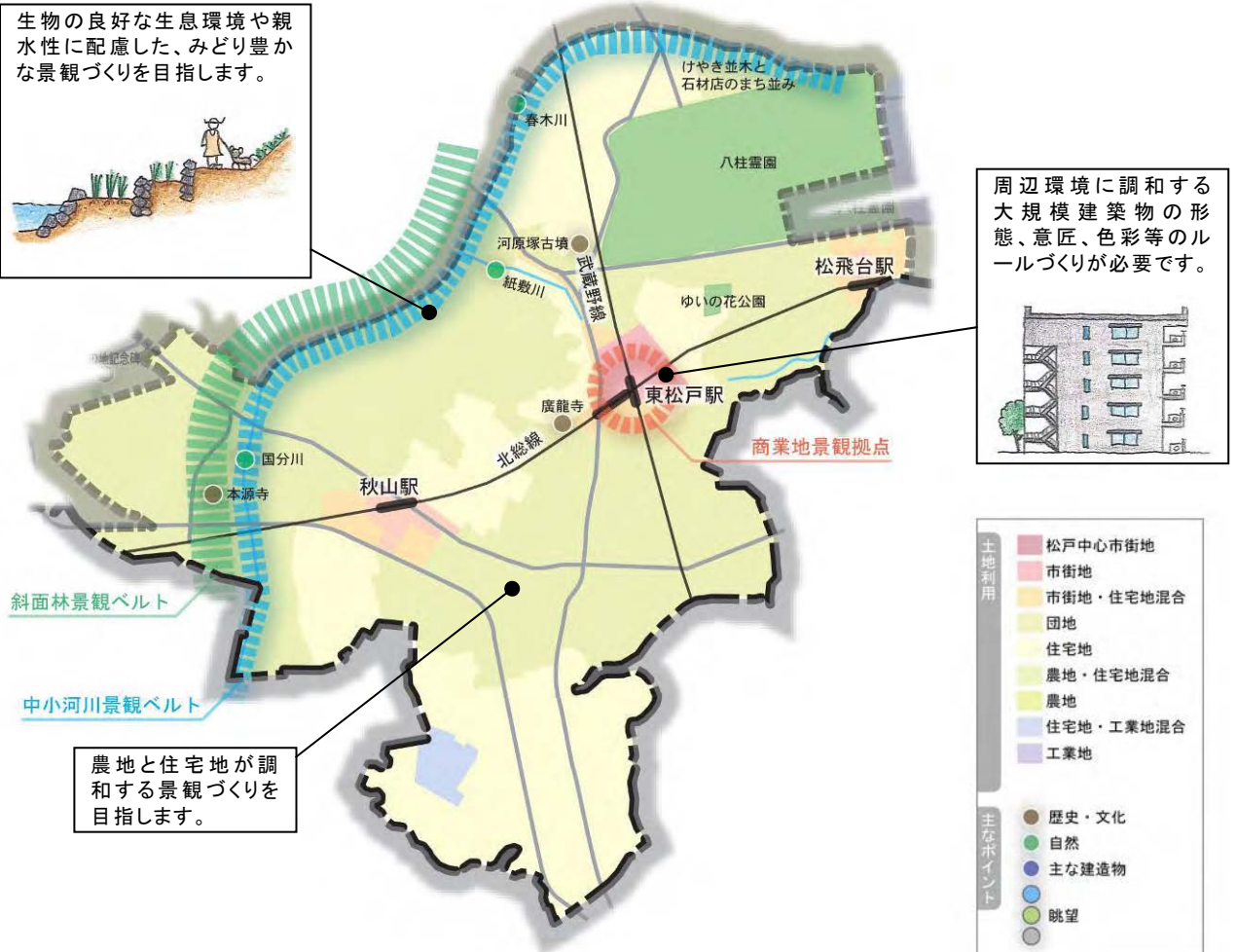
- ・屋外広告物の掲出ルールを守ります。

【行政】

- ・東松戸ゆいの花公園を緑の情報発信基地として活用します。
- ・国分川を再生し自然の生態系を次世代に継承します。



生物の良好な生息環境や親水性に配慮した、みどり豊かな景観づくりを目指します。



■景観拠点〔商業地景観拠点－東松戸駅周辺〕

東松戸駅はJR武蔵野線と北総線が交差する東部地区の拠点であり、計画的なまちづくりが進行しています。近年、駅周辺は、中高層のマンションの建設などの市街化が進んでおり、敷地内の立体駐車場や緑化、色彩や素材を周辺景観に調和したデザインにするなどの景観的な配慮により、魅力あるまち並みを創出していくことが求められます。

また、通りの魅力を創出するために市民が手入れをして演出する空間づくりを進めることにより、活性化を図っていくことも大切です。



市街化が進む東松戸駅前

景観づくり方針

●新しい商業地拠点として、みどりのうるおいと賑わいが調和した計画的な景観づくり

考え方	行動方針
● 過剰な屋外広告物や夜間照明を規制するルールを検討します。	3)-③景観を阻害する屋外広告物、工作物等を規制しよう
● 分かりやすい公共サインのあり方を検討します。	3)-④公共の案内板・サイン等は見やすく理解しやすい工夫をしよう
● ゴミの集積所のあり方を工夫します。	3)-⑤ゴミ集積場のあり方を考えよう
● 周辺環境に調和する大規模建築物の形態、意匠、色彩等のルールを検討します。	4)-④周辺環境に調和する大規模建築物のルールをつくろう
● 駅周辺のオープンスペース等の活用により、うるおいと賑わいの創出に努めます。	5)-①未利用地の活用をすすめよう
● 新たな居住者などを含めた市民参加による景観づくりを支援します。	5)-③景観づくりに取組む市民活動を支援しよう